

1 英語 VI (c)

【講師】	李世恩
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級 / 一般教養 TOEIC リーディング対策

【テキストについて】

『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 10』(ETS(著) / 3,000円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

【注意事項】

講座番号: 2 『英語VI (d)』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

2 英語 VI (d)

【講師】	李世恩
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級 / 一般教養 TOEIC リーディング対策

【テキストについて】

『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 10』(ETS(著) / 3,000円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

【注意事項】

講座番号: 1 『英語VI (c)』と同じ講義内容となりますので、どちらか1講座をお申込みください。

3 英語学概論 II

【講師】	村尾 治彦
【日時】	9月30日～・毎週水曜日 1時限目 (8:40～10:10)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級 / 専門

英語表現の意味もしくはその使用的側面に焦点をあて、認知と言語の関係を考えながら、様々な現象の背後に潜む規則性を考察していきます。認知意味論では特定の表現形式と英語母語話者の認知の仕方の関係や、日本語らしい表現、英語らしい表現を考察します。さらに言語使用の側面において、会話の含意や原則などを扱います。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100文字程度) により決定

4 Junior Seminar B - II

【講師】	萱嶋 崇
【日時】	9月30日～・毎週水曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

この授業では生成文法の枠組みのもと、英語の様々な構文を考察する。生成文法は絶えず理論が発展しており難解なイメージを持たれがちだが、ここではあまり理論に深入りせずに様々な「英文法のふしぎ」を考えていく。高校英語では触れられない英文法の知識を得たり、当たり前のルールとして教えられた英文法の背景にある原理、原則を発見することができる。

【テキストについて】

『英語の主要構文』(中村捷、金子義明[編]、研究社 / 2,800円 + 税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

抽選により決定

5 English for Global Business IV

【講師】	岡崎 紀久子	
【日時】	9月30日～・毎週水曜日 3時限目 (12:50～14:20)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 5,000円
【講義内容】		

TOEIC Listening & Reading Test のテスト形式に倣った演習問題を解くことによって、ビジネス社会における英語を用いたコミュニケーションの基礎となる語彙・文法力を培います。また、ビジネスの現場で必要とされる情報収集力の育成に役立つ解法のストラテジーについても学びます。英検2級程度の英語力が必要です。

【テキストについて】

『Successful Keys to the TOEIC Listening and Reading Test 3』(Mark D.Stafford (著)、桐原書店 /1,800円 + 税) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100文字程度) により決定

7 中国語発展Ⅱb

【講師】	岡村 真寿美	
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 2時限目 (10:20～11:50)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 5,000円
【講義内容】	中級	

中国語を1年程度学習した経験のある方向けです。

【テキストについて】

『さらなる中国語の世界 大学二年生のレベルアップ中国語』(劉国彬、清水洋子 (著)、金星堂 /2,400円 + 税) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100文字程度) により決定

6 中国語発展Ⅱa

【講師】	山田 俊	
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 2時限目 (10:20～11:50)	
【募集人数】	5名まで	【受講料】 5,000円
【講義内容】	中級 / 一般教養	

中国語のエッセイの原書の翻訳を行う。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200文字程度) により決定

8 中国語基礎ーb 週2回

【講師】	岡村 真寿美	
【日時】	9月25日～・毎週木・金曜日 (週2回) 1時限目 (8:40～10:10)	
【募集人数】	若干名	【受講料】 10,000円
【講義内容】	初級	

基礎的な発音と文法を半年程度学習した経験のある方向けです。

【テキストについて】

『初級中国語 この1冊 4技能習得を目指して 改訂版』(丸尾誠・勝川裕子・李軼倫 (著)、金星堂 /2,200円 + 税) あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100文字程度) により決定

9

日本語史Ⅱ

【講師】 米谷 隆史

【日時】 9月28日～・毎週月曜日
2時限目 (10:20～11:50)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

日本語の音韻の歴史を学びます。録音機器による日本語音声の記録は百年程前のものがあるだけですから、過去の日本語の音を知らせてくれる文献資料にはどのようなものがあるのかを理解していくことが中心となります。日本語学と日本文学史の基礎、前期開講の日本語史Ⅰの内容を理解していることを受講の前提とします。

【テキストについて】

『国語史を学ぶ人のために』(木田章義[編]、世界思想社/2,900円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

10

現代日本語の分析

【講師】 小川 晋史

【日時】 9月30日～・毎週水曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 上級/専門

日本語の分析にはどのような視点があるのか、日本語という言葉はどのような言語かを学ぶものですが、2年生以上対象の専門科目ですので、これまでに日本語学/言語学を学んだ経験が無い方は「日本語学概論Ⅰ・Ⅱ」を先に受講することを強く推奨します。

【テキストについて】

『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える 第2版』(庵功雄(著)、スリーエーネットワーク/2,000円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

11

近代地域文化研究

【講師】 五島 慶一

【日時】 9月25日～・毎週金曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

夏目漱石の作品を丁寧に読み解くこと、兼ねて適宜作家自身の経験的事象も視野に入れることで、中央と地方・学校制度・交通機関など、近代文学の根柢にある文化的装置・枠組について考えていきたい。

【テキストについて】

『坊っちゃん』(夏目漱石、角川文庫/480円+税) ※但し、本文が読めれば他の本でも可
『三四郎』(夏目漱石、角川文庫/450円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

12

近代文学史

【講師】 五島 慶一

【日時】 9月28日～・毎週月曜日
4時限目 (14:30～16:00)

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

本講では、明治期を中心にほぼ時系列に沿って文学史上の幾つかの項目を追い、創作活動の背景として存在する個人及び社会的動機に関して改めて確認することで、作家や作品への理解を深める一助とする。特段の予備知識は必要ないが、内容は専門的なところにまで踏み込むことがある。

【オンラインツールについて】

一部 Microsoft Teams を使用する場合があります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

13 英語圏文学講読Ⅱ

【講師】	難波 美和子
【日時】	9月28日～・毎週月曜日 5時限目(16:10～17:40)
【募集人数】	2名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	上級/専門

現代の作家たちは国境のみならず言語という枠組みも食い破り、それぞれの表現を模索している。多様化し、拡大する英語使用者とともに、英語による文学が何を産み出しているのかを、現代南アジアの英語文学を例として考える。

- 1 導入：インドの英語文学の現在
- 2 大英帝国と英語
- 3・4 インドの英語文学史
- 5～7 現代インド英語文学を読む①2000年代短編小説
- 8～10 現代インド英語文学を読む②1990年代短編小説
- 11～13 インド英語文学を読む 長編小説
- 14・15 文学を批評する

【オンラインツールについて】

Google driveを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

14 中世文学講読

【講師】	鈴木 元
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 2時限目(10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

室町期に全国的なうねりを見せ、多くの愛好家を生み出した「連歌」を取り上げます。集団制作の文藝であり、基本的に限定されたサークル内で制作と享受が完結する、特異な形態の文藝です。その特異な性格から、連歌は様々な藝能と交渉をもち、連歌自体も藝能的とみなされることもあります。この講義では、中近世の諸藝能との関わりから、連歌および関連資料を読んでいきます。

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

15 英語文学多読入門

【講師】	吉田 希依
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 5時限目(16:10～17:40)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

翻訳を用いて英語文学作品を多読する、英語文学の入門として位置付ける授業です。ジャンルを問わず多くの作品に触れることで、小説の読み方を学ぶにとどまらず、分野を横断して応用可能な幅広い教養を身に着けることを目指します。講義のみではなく、発表やディスカッションの機会を設けます。

【テキストについて】

『アメリカン・マスターピース 戦後篇』(柴田元幸、スイッチ・パブリッシング/2,700円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Google スプレッドシートを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(100文字程度)により決定

16 比較文学講義Ⅱ

【講師】	難波 美和子
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 5時限目(16:10～17:40)
【募集人数】	2名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	上級/専門

文学を理解することについてより深く考える方法を学ぶ。文学作品を楽しむには、戦略が必要である。読書に必要なのは感性なのだというならば、感性とは何なのか、どのようにしてそれを養うのかを問うべきだろう。言語表現への感性は、無からは生まれない。作者の仕掛ける技巧を読み解くには、文学作品が持つ意味や背景、作家の技術について知らなければならない。

本講義では、テキストの読みと解釈を通して、文学批評の概念と現代文学批評の基礎を学ぶ。知識と方法を学ぶことで、積極的・生産的読者を目指そう。

【オンラインツールについて】

Google driveを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

17 日本文化論Ⅱ

【講師】	羽鳥 隆英
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

熊本藩熊本藩細川家に由縁の元禄赤穂事件 (1701年～1703年) に取材した「忠臣蔵」の歴史を概説します。日本語を活用した文学、演劇、演芸、映画などの様々な媒体を議論の対象に設定し、「忠臣蔵」と日本社会、特に近代日本社会の相関性を議論します。

【オンラインツールについて】

予習に動画 (インターネット環境があればご視聴いただけるサイト) を活用する場合があります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

18 人間と芸術

【講師】	永田 郁
【日時】	9月28日～・毎週月曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	10名まで
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

本講義は「人間と芸術」というテーマのもと、人間が社会の中でいかなる芸術もしくは視覚的イメージを創造したか、また人間にとって芸術・視覚的イメージがどのように使われ、理解されてきたかについて、日本を含むアジア世界及び西洋世界の具体例を取り上げ、探っていく。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

抽選により決定

19 Global HistoryⅡ

【講師】	王 勁草
【日時】	9月29日～・毎週火曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	一般教養

前期には、人類を結びつけるいくつかのキーワードを通して世界史について学びました。ケーススタディとして、後期にはシルクロードの歴史に焦点を当てます。シルクロードとは、紀元前2世紀から17世紀半ばまで活動していたアジアの交易路のネットワークであり、東西世界の間で経済的・文化的・政治的・宗教的な交流を促進するうえで中心的な役割を果たしました。※この授業は英語で行われます。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

20 古典文化研究Ⅱ

【講師】	徳岡 涼
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	中級/専門

「枕草子」の描かれた時代背景や清少納言の事、主人定子、および道隆一族のことなどをまずは押さえます。そのうえで、著名な段を日記的章段 (後宮で交わされる清少納言と公達との機転の効いたやり取り、定子の知性を感じさせるエピソード) を中心に解説します。最も納得のいく解釈を示していきます。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

21 中国文化論Ⅱ

【講師】山田 俊

【日時】10月1日～・毎週木曜日
5時限目(16:10～17:40)

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】一般教養

中国の様々な文化の概論と、それらを調べる際のノウハウについての講義

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200文字程度)により決定

22 建築環境工学Ⅱ

【講師】辻原 万規彦

【日時】9月25日～・毎週金曜日
1時限目(8:40～10:10)

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

建築環境工学のうち、空気環境、光環境、音環境に関する基礎事項を平易に解説する予定です。知識だけにとどまらず、ものの見方や考え方も学べることを目指します。理解を深められるようにできるだけ毎回演習問題を出題する予定です。関数電卓が必要です。高校卒業程度の数学、物理の知識があることを前提とします。

【テキストについて】

『図説 やさしい建築環境(第4版第2刷 2024年3月発行)』(今村仁美・田中美都(著)、学芸出版社/2,800円+税)
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teamsを使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

23 家庭機械・電気

【講師】齊藤 弘順

【日時】9月28日～・毎週月曜日
4時限目(14:30～16:00)

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】一般教養

石油資源枯渇や地球温暖化などエネルギー・環境問題は、市民生活レベルでの対策も迫られています。賢く省エネ・環境負荷低減生活を送るために家電製品の動作原理を理解することが本講義の目的です。衣食住の観点から家電製品の動作原理を解説しますが、ユーザー視点での講義故、必要となる基礎知識は中学校の理科程度です。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(100字程度)により決定

24 地域景観計画学

【講師】柴田 祐

【日時】10月1日～・毎週木曜日
2時限目(10:20～11:50)

【募集人数】若干名 【受講料】5,000円

【講義内容】専門

景観の概念、景観形成の視点、まち並みと農村景観の構成要素、景観施策、景観まちづくりなどについて、全国各地の具体的な事例を通して学び、地域景観は、景観を構成する様々な要素と、そこでの人々の生活との関わりの中から成立していることを理解する。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書(200字程度)により決定

25 環境設備学

【講師】	栗原 広佑
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

人間が快適かつ健康に生活するために欠かせない熱・空気環境と水環境をコントロールするための建築設備の概要について解説します。また、建築設備の運用に関する省エネルギー化や自然エネルギーの活用といった環境共生手法についても解説を行います。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

27 建築構造の基礎

【講師】	李 麗
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

建築構造に関する基本的な事項を学ぶ。構造の種類・形式、構造物の安定・不安定/静定・不静定の判定、荷重の種類、力の合力・分力、反力、応力、片持ち梁・単純梁の反力、応力の求め方および応力図の描き方などについて講じる。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (200字程度) により決定

26 比較住文化論

【講師】	高橋 浩伸
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	初級/専門

住居の形を規定する要因として、気候や地形、生業形態、建築材料、家族や社会組織、それに信仰体系や宇宙観・世界観等があり、実に多様な形態が世界中に見られる。そこで、これらの要因によって我々人類は、どのように住まい、どのように住文化を形成してきたのかを世界各地に求め、その地域独自のヴァナキュラーな住居史を総覧し、日本の住文化との比較を行い、今後の住空間の在り方を考える。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書 (100字程度) により決定

28 憲法Ⅱ

【講師】	佐藤 雄一郎
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 4時限目 (14:30～16:00)
【募集人数】	10名程度
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

日本国憲法が定める統治機構の仕組みの内容や問題点 (具体的には国会・内閣・財政・地方自治・天皇制・平和主義・裁判所) を、条文と判例そして学説を基にして明らかにしていく講義である。

【選考方法】

受講希望の理由書 (300字程度) により決定

29 現代社会と企業

【講師】 山下 剛

【日時】 9月29日～・毎週火曜日
3時限目（12：50～14：20）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

現代社会は「企業社会」とも呼ばれます。それだけ、企業は現代社会においてそれなしでは成り立たない、大きな存在となっています。現代社会に生きる人々は、一生を通じて、消費者・生活者・労働者として何らかの形で企業と関わっていかざるをえません。この意味で、企業の経営、企業がどのように運営されるかという問題は、単に企業の経営者だけでなく、企業に関わるすべての人にとっての問題となっているのが現代社会です。本講義の狙いは、企業が現代社会をどのようにして築いてきたか、築きつつあるか、また、逆に、企業は社会の影響を受けてどのように運営されているかを考えていくこと、この意味で、現代社会と企業について考えていくことにあります。

【テキストについて】

『日本企業論 企業社会の経営学 第2版』（勝部伸夫、文眞堂 /2,700円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参すること。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでのやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（100字程度）により決定

30 生命倫理と法

【講師】 江崎 一郎

【日時】 9月30日～・毎週水曜日
3時限目（12：50～14：20）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 一般教養

テーマ「いのちを考える」

『生命倫理学を学ぶ人のために』を解説することを通じて、生命倫理における多様な問題について考察する。受講生の理解度や要望、講義の進捗状況等により適宜、変更します。学外の研究者による特別講義も予定しています。

【テキストについて】

『生命倫理学を学ぶ人のために』（加藤尚武・加茂直樹 編、世界思想社 /2,300円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参すること。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用することがあります。
講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（文字数は問わず）により決定

31 参加協働論

【講師】 澤田 道夫

【日時】 10月1日～・毎週木曜日
2時限目（10：20～11：50）

【募集人数】 若干名 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

協働とは、人と人との相互作用を通して社会の目標を達成していくシステムです。国や県、市町村などが行う様々な行政活動に人びとが参加し、行政と力を合わせていくことで、より良い地域を作り上げていくことが可能となります。この授業では、地域づくりにおける協働の持つ意義について理解を深めることを目標とします。

【テキストについて】

『真・自治行政構想の奇跡』（荒木昭次郎・澤田道夫、敬文堂 /2,600円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【選考方法】

抽選により決定

32 メディア情報処理

【講師】 石橋 賢

【日時】 9月28日～・毎週月曜日
1時限目（8：40～10：10）

【募集人数】 10名まで 【受講料】 5,000円

【講義内容】 専門

近年の情報社会では、画像・映像・音声・テキストなど多様なメディア情報がネットワークを通じて流通している。本授業では、画像処理、CG、HCI、XR、音声・言語メディアなどの情報メディア技術を学ぶ。また、AIによるメディア生成やメディアデザインなど、最新技術とその社会応用について理解し、情報メディア技術を統合的に捉える力を養う。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用することがあります。
講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

33 情報処理基礎演習-e

【講師】	金井 貴
【日時】	9月29日～・毎週火曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

本講義では膨大な情報を効率的に扱う方法として、データ分析とプログラミングの初歩について学ぶ。データ分析では、表計算ソフト Microsoft Excel を用いた演習を通し、データの可視化と統計分析手法の基本について学ぶ。プログラミングにおいては、視覚的に学ぶことが可能なグラフィカルなプログラミング開発環境を用いて、基本三構造（順次処理・条件分岐・繰り返し）に関する知識の習得を目指す。

【テキストについて】

『Scratch で学ぶ プログラミングとアルゴリズムの基本 改訂第2版』（中植 正剛、太田 和志、鴨谷 真知子（著）、日経 BP/2,300円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

Microsoft Teams を使用する場合があります。
講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

抽選により決定

34 原価計算論

【講師】	望月 信幸
【日時】	9月25日～・毎週金曜日 2時限目 (10:20～11:50)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

本講義では、原価計算の意義および目的を理解し、原価計算の理論的アプローチおよび計算手法について学びます。具体的には費目別計算から総合原価計算までの原価計算理論を学ぶことに加え、全経2級工業簿記、さらには日商2級工業簿記の基礎知識習得を目標とします。なお、講義の中で計算を行うことが多いため、毎回必ず計算用具を準備してください。

【テキストについて】

『テキスト原価会計 第3版』（高橋賢、中央経済社/2,300円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（200文字程度）により決定

35 産業組織論

【講師】	井田 貴志
【日時】	10月1日～・毎週木曜日 3時限目 (12:50～14:20)
【募集人数】	若干名
【受講料】	5,000円
【講義内容】	専門

不完全競争市場やゲーム理論を用いながら、市場構造、企業戦略、政策制度などについて、理論的に考察を進める。

【テキストについて】

『産業組織論への招待』（西村淳一・山内勇（著）、新世社/2,700円＋税）
あらかじめ上記テキストを入手、持参してください。

【オンラインツールについて】

講師とEメールでやりとりをすることがあります。

【選考方法】

受講希望の理由書（300文字程度）により決定